

# 三原村集落活動センターやまびこ（三原村）



拠点施設  
情報

三原村農業構造改善センター  
(幡多郡三原村宮ノ川1113-2)  
0880-31-7839



## ○ 主な活動内容

### <やまびこカフェ>

地元のおかみさんたちが村の旬の食材を使った日替わりランチを提供しています。村内外からの来店者による交流拠点となっており、集いの場として機能しているほか、おかみさんたちの生きがいづくりの場ともなっています。

三原村集落活動センターやまびこ  
Instagramアカウント



### <特産品の販路開拓>

所得向上や担い手の確保など地域農業の活性化に向け、三原米ブランド化研究会を設立し、特別栽培米「水源のしずく」を開発しました。商談会やイベント出展を通じて、三原村のPRと「水源のしずく」を含む村の特産品の販路開拓を担っています。



### <その他にも…>

- 村唯一のコインランドリーを設置  
24時間営業でスニーカー用の洗濯機もあるため、村の幅広い世代に活用されています。
- 体験プログラム運営  
自然豊かな三原村の原風景をのんびり巡るスローサイクリングツアー、村歩き古木めぐりを運営しています。



開設時期

H28.3.28

運営主体

(一社) 三原村集落活動センターやまびこ

構成集落

下切、亀ノ川、広野、柚ノ木、宮ノ川、来栖野、皆尾、芳井、下長谷、上下長谷、上長谷、狼内、成山、星ヶ丘

人口・世帯数

1,322人・716世帯 (R8.2.28時点)

地域の自慢

村には山、小川、田んぼがあり、トンボやホタルが飛び交う日本の原風景が色濃く残っています。また、日本で初めて「どぶろく特区」の認定を受けたどぶろく発祥の村であり、どぶろくは村を代表する特産品として定着しています。

## ○ 地域のこれから

「安心して生活できる村」、「生産活動を継続しながら農村維持ができる村」を目指し、農用地保全や各部会による地域資源の活用、生活支援など様々な活動を通じて村民の交流促進および地域コミュニティの維持に繋げ、「村に住み続けるための仕組みづくり」や「元気で楽しい生きがいづくり」を今後も進めていきます。

## ○ 活動への思い

設立以来、村への愛着や誇りを大事にしながら、村や関係団体と連携して各部会での活動に取り組んでいます。村民から「絶対になくっては困る」と思われるような地域にとって不可欠な存在を目指して活動しています。(理事長 宮崎 俊雄 様)

